

公益社団法人 日本経営工学会
第 34 期第 8 回理事会議事録

日 時：平成 30 年 9 月 15 日(土)13:55～17:05

場 所：東京都市大学渋谷サテライトクラス A 教室

出席者：(理事) 石井和克, 内田耕平, 大久保寛基, 外館晃, 中出康一, 西岡久充, 西村泰一
(監事) 河野宏和, 皆川健多郎

欠席者：(理事) 開沼泰隆, 八木英一郎, 片岡隆之, 辻村泰寛, 中島健一

議決事項

1. 第 34 期第 7 回理事会議事録の確認の件

庶務担当理事より, (資料: 8-1)に基づき, 第 34 期第 7 回理事会議事録(案)が提示され, 全会一致で承認された。

2. 入会承認の件

会員担当理事より, (資料: 8-2)に基づき, 正会員 5 名, 学生会員 3 名の入会申請が報告され, 全会一致で承認された。なお, 前回の理事会(第 34 期第 7 回理事会)にて報告がなされた 1 名の正会員の退会希望者について, 第 7 回理事会時点での退会として処理されていたが, 今期末の退会希望者であったことが説明された。そのため, (資料: 8-2)『平成 30 年度会員異動報告書』の「(7 月 7 日時点会員数)」の正会員および「(会員数推移)」の 7 月 7 日正会員を 1,025 名から 1,026 名に訂正した報告がなされた。

3. 次期役員, 代議員選挙の件

庶務担当理事より, (資料: 8-3)に基づき, 選挙委員会委員, 代議員推薦委員会委員の候補が報告され, 全会一致で承認された。なお, 第 1 回選挙委員会を 10 月 27 日(土)の秋季大会の昼休みに開催し, 主に委員長の選出およびスケジュール確定, 業務説明などを行うことが確認された。

4. その他 なし

協議事項

1. 70 周年事業準備委員会設置について

石井会長より, (資料: 8-4)に基づき, 70 周年事業準備委員会設置についての説明がなされ, 70 周年事業準備委員会を設置することが全会一致で承認された。あわせて委員について, 開沼副会長を委員長, 外館企画・行事担当理事, 中島国際渉外担当理事, 中出研究担当理事, 八木大会担当理事を委員とする案が提示され, 全会一致で承認された。また, 任期は今期(第 34 期)中とするが, 次期(第 35 期)70 周年事業実行委員会(仮称)との引継ぎ期間も含めることが確認された。

2. 寄付行為に対する対応処理について

石井会長より, (資料: 8-5)に基づき, JIMA に対して寄付行為がなされたことが報告され, 今後の寄付行為に対する対応処理についての提案がなされた。庶務委員会が寄付行為に対する規程や細則, 手続きなどの制度の策定を進めることが全会一致で承認された。

3. 理事会みなし決議における利害関係者について

庶務担当理事より、(資料：8-6)に基づき、理事会みなし決議における利害関係者についての説明がなされた。JIMA と理事との間の利害なのか、あるいは JIMA と外部組織との間の利害のかなど、利害関係の取り扱いが非常にあいまいであることが指摘された。また、JIMA 外の組織における活動(例えば外部組織への委員の派遣など)について、内閣府への事業変更届が必要になる場合があるとの指摘が事務局からなされており、現在、該当する事案について事務局で確認していることが報告された。これらの指摘を勘案した上で、継続して利害関係者の解釈について検討することとなった。

4. 賛助会員数を増やすためのアクションプランの検討

会員担当理事より、(資料：8-7)に基づき、賛助会員数を増やすためのアクションプランが提示された。賛助会員の増加を目的にするよりも、より個人の正会員を増やすことに注力すべきである、賛助会員に対するインセンティブが明確ではない、賛助会員ではなく企業会員のような形態が良いのではないかという意見が出され、会員制度(種類や内容)の見直しを行う必要性もあることから継続して審議することとなった。また、産学連携研究交流会の中で賛助会員増加に向けたアプローチを試みることが確認された。

5. 大会細則の改訂について

庶務担当理事(大会担当理事代理)より、(資料：8-8)に基づき、大会細則の改訂案が提示され、全会一致で承認された。なお、大会細則が厳密すぎたり、事務局への依頼事項が多すぎたりするのではという意見も出され、業務フローの見直しとともに大会細則のさらなる改定の必要性も提案された。

6. IIIE との連携について

庶務担当理事(国際渉外担当理事代理)より、(資料：8-9)に基づき、石井会長宛に IIIE(Indian Institution of Industrial Engineering)が主催する国際会議へのメッセージの寄稿依頼があり、JIMA 会長としてのメッセージを寄稿したことが報告され、今後 IIIE と連携を進めることが全会一致で承認された。具体的な連携は今後検討していくことになるが、まずは JIMA と IIIE との情報共有を図るために、それぞれの会議やワークショップなどの国際活動に関する情報を共有していくことも確認された。

7. Best presentation award の審査基準等について

表彰担当理事より、(資料：8-16)に基づき、Best presentation award(BPA)の審査項目について提案がなされ、全会一致で承認された。また、当日の審査用紙に審査項目を表記し、審査員への周知を図ること、JIMA ホームページの大会 Q&A 内に掲載されている BPA に関する審査方針について差し替えを行うこと、審査員には理事会役員も加わることが確認された。

8. その他 なし

報告事項

1. 会員担当理事より、(資料：8-2)に基づき、退会についての報告がなされた。
2. 庶務担当理事(大会担当理事代理)より、(資料：8-10)に基づき、2018 年春季大会報告、2018 年秋季大会、2020 年秋季大会についての報告がなされた。

3. 庶務担当理事(論文誌編集担当理事代理)より、(資料:8-17)に基づき、レフェリーの秘匿義務と産学連携特集論文についての報告がなされた。
4. 庶務担当理事(経営システム誌編集担当理事代理)より、(資料:8-11)に基づき、経営システムの電子化(WEB版)についての報告がなされた。
5. 人材育成担当理事より、(資料:8-12)に基づき、JIMA 秋季大会における「(仮)学生のための技術士を目指そう」説明会、第2回「日本IE協会との連携事業:現場研修会」についての報告がなされた。
6. 企画・行事担当理事より、(資料:8-18)に基づき、産学連携研究交流会本年度追加分科会企画状況他についての報告がなされた。
7. 庶務担当理事(国際渉外担当理事代理)より、(資料:8-13)に基づき、協賛行事報告がなされた。
8. 庶務担当理事(論文誌編集担当理事代理)より、(資料:8-14)に基づき、掲載料・別刷代請求一覧についての報告がなされた。
9. 代表理事より業務執行状況について報告がなされた。まず石井会長から(資料:8-15)に基づき報告がなされた。内田副会長からは、プレ賛助会員のリスト作成、全国IE年次大会でのJIMA正会員の勧誘活動、会員名簿参照の問い合わせに対する承認、ConComに対するJIMAの対応の状況説明および今後の調整を行った旨の報告がなされた。
10. その他 なし

※次回第34期第9回理事会は、平成30年10月28日(日)15:00~18:00、東海大学高輪キャンパスにて開催する。

議 長 石井 和克 印

議事録署名人 河野 宏和 印

議事録署名人 皆川 健多郎 印